

令和4年 1月

時が経つのは早いもので、今年も新年を迎えました。皆さん、明けましておめでとございます。2年ぶりのパンデミック、新年もまだまだ気を抜けないようです。そういえば、安長寺で毎年新年に行われる朝倉市の重要なお祭りの一つである「バタバタ市」。昨年は中止となったが、今年復活した。

ご存知のように、「バタバタ市」はもともとパンデミックの終焉を祈願して行われたものである。当時、日本を脅かしていたのは天然痘で、最近の流行病よりもはるかに深刻であり、特に子供に関しては深刻だった。そのため、小さな「ばったばった」のおもちゃは、健康への希望を表すシンボルとなり、その伝統が今に受け継がれているのです。

このような話題は、一見、過去の話のようですが、現代でも十分通用しますし、外国人にとっては、知らないことが多く、興味があることだと思います。訪日外国人向けポータルサイト「Visit Asakura」では、「バタバタ市」と「天然痘の予防接種の歴史」の2つの記事を掲載しました。このサイトを訪れる人が増え、興味深い話を読むと、今度「ばたばた市場」に行ったら、観光している外国人を見かけたら、満面の笑顔で「ウェルカムトゥアサクラ」と言うのを忘れないでくださいね。

*上に記事のリンクを添付しましたので、ご自由にご覧ください。